

山 事 研 會 報

第42号

山梨県公立小中学校事務職員研究会

平成30年8月23日発行

編集発行人 広報委員会

平成30年6月14日、山梨県立文学館において、平成30年度第1回研修会及び定期総会が開催されました。研修会には、会員137名が参加者し、日頃の事務処理における注意事項の確認や、県の担当者から直接研修を受けることができた、有意義な研修となりました。

第1回 研修会 報告

今年度も、県教育庁福利給与課及び公立学校共済組合山梨支部より、3名の講師を招き、各種制度に関する研修会が行われました。

福利給与課からは「住居手当・通勤手当について」を表題に、研修が行われました。年々、多様化、煩雑化していく諸手当の認定について、基本的な支給要件の確認だけでなく、具体的な事例を通して、特殊な事例の解説を受けることができ、日頃の事務処理における留意点を改めて確認することができました。また、福利給与課内に寄せられた質問事項をまとめた資料も提示され、諸手当の認定時だけでなく、手当確認時にも留意すべき点が質疑応答形式で明記されており、日頃の事務処理の際にも活用することができる、貴重な資料をいただきました。



共済組合からは、「退職後の医療保険制度について」と「年金制度について」を表題に、研修が行われました。定年退職後に加入することができる医療保険制度については、当該退職者の状況に応じて様々であり、退職者の実態に応じて、加入することができる制度が限られていること、また、退職後に再任用等として就職する場合や、親族の扶養を受ける際の事務手続きにおける留意点についての説明もあり、任意継続組合員制度や国民健康保険制度といった制度別の保険料の算出方法や、それぞれの制度に加入した際の利点についても学ぶことができました。

公的年金制度についての説明では、平成27年10月より一元化された被用者年金制度の中で、共済年金制度が厚生年金制度に統一されるに至った経緯と、制度の概要についての説明がありました。また、私たち教職員の給与から、毎月々控除されている掛金の算定方法についての説明もあり、手当率制から標準報酬制に移行された、標準報酬月額算定方法についても学ぶことができました。その他にも、国民年金における被保険者の種類や、基礎年金番号制度の説明といった年金制度に関わる基本事項の解説や、老齢年金や障害年金、遺族年金制度についての概要と各種請求方法について、詳しい説明を受けることができました。

全体を通して、どの議題もこれからの時代を見据えた内容が多く、経験年数の浅い事務職員や、事例を扱ったことのない事務職員でも、とても参考になる貴重な研修の場となりました。

第21回 山梨県公立小中学校事務職員研究会総会

研修会終了後、第21回定期総会が開催されました。総会では、昨年度の研究報告に加え、今年度の研究内容とその指針が確認されました。また、旧役員である野田忠司会長と末木幹子副会長による、退任の挨拶と、今年度より新役員として承認された志村秀樹会長、久保寺章夫副会長、原田沙也佳会計による新役員の挨拶も行われました。また、今総会では顧問である羽田芳郎先生のご出席も賜り、研究会の運営に向けた、ありがたいお言葉を頂戴いたしました。



退任された前会長と前副会長



新役員4名によるあいさつ